

ポポポ 新聞

[Ponpoko News]

第 62 号



=発行=

2016年2月21日

喜多見ポポコ会議

www.ab.auone-net.jp/~ponpoko



写真3 喜多見駅の下りホームで
(2015.10.18 HEISANDO 撮影)



写真2 行商専用車で積み下ろし(写真)



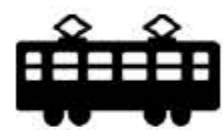
写真1 郵便荷物車の車内(写真)

中世の頃、江戸は流通網の拠点の一つで、喜多見に縁があると伝わる江戸氏は、江戸を中心に水上・陸上を問わず流通網を掌握していた可能性が高いと言われています。

歴史を下り近年はトラック輸送が主体となり、製造や流通そして私達の生活もとても便利になりました。しかしトラック運転手の不足もあり、今、鉄道輸送に注目が集まっています。喜多見で鉄道といえば喜多見駅前の鉄道模型店 HEISANDOさん、お話を伺ってみました。

貨客混載 は懐かしくて新しい

——『PONPOKO REPORT』で都市物流は貨客混載と提案したところ、それを見てツイッターに「地下鉄にクハユ二が走ったら胸熱」と書いてくださった方がいたのですが、「クハユ二って何ですか？」



「国鉄・JRの区分で、クハ二制御車、ハ二普通車(イは1等車、ロは2等車、ハは3等車)、ユ二郵便車、ニ二荷物車、他に、コ二コンテナ車、シ二食堂車という区分もあります。クハユ二は1両に普通車・郵便車・荷物車の機能を備えた合造車でかつ運転台付き制御車輛という意味です」

●郵便物を車内で仕分け

「国鉄の郵便・荷物輸送は1980年代半ばに運行を終了しました(新聞輸送を除く)。郵便・荷物に関しては幹線では専用列車で、ローカル線では普通列車に間借りする形で運行することが多かったです。普通列車に間借りする場合は、専用の車輛1両分が郵便・荷物だったり、クハユ二のように1両でお客も荷物も郵便も載せるというところもありました。郵便専用車両では、駅のポストに投函された郵便物を郵便局の職員が車内で仕分けし(写真1)、各地に運んで積み下ろしていました」

合理的ですね。



「カーテンを付けて客荷分離なんでもことやりましたよ。新聞については今も旅客列車で運んでいる路線があります。都市部の鉄道に貨物のイメージは無いですが、貨物の虚構もあります。旧国鉄の駅は貨物を考えて造っているので駅構内が広いんですよ。新宿駅の高島屋、渋谷駅の埼京線ホーム、恵比寿駅のガーデンプレイス(ビールの搬出で)、品川駅の新幹線ホームは貨物駅の跡地を活用している例です。実は大手私鉄でも、荷物の専用列車や専用車両を運行している例があります」

●最近まであった行商専用車

「関東大震災後に千葉県から東京都へ農家が野菜や餅等を運んだ京成電鉄の野菜行商専用列車(通称:なつば電車)がありました。次第に縮小されて最後尾1両だけの専用車両になりましたが、『行商専用車』として2013年3月まで平日のみ運行していました(写真2)。駅の時刻表には、女性専用車両と並べて運行時間の案内が掲示されていましたよ」

●近鉄で今も走る鮮魚列車

「近畿日本鉄道(近鉄)では現在も、平日と土曜に行商しか乗ることが出来ない専用列車を運行しています。伊勢・志摩の新鮮な魚介類を大阪へ運ぶ『鮮魚列車』です」

——「そこいえば、かつては多摩川の砂利を運ぶ鉄道があったと聞きます。」

「今の東急田園都市線が玉電と言われていた当時、多摩川の砂利を都心に運んでいました」



●小田急線でも運んでいる

「小田急線でも喜多見駅で社内用と思われる荷物を台車で運んでいるのを見たことがあります(写真3、掲載許可済み)。混雑時間帯に貨客混載は無理だと思えますが、その時間帯を外せば可能だと思いますし、宅配便の荷物を鉄道駅で受け取れるようになるなら便利だし、ぜひ都市部で実現してほしいですね」

1983年4月設立

世田谷区ラグビースクール



多摩川河川敷で練習

ラグビー日本代表の活躍で一躍注目されるようになったラグビー。喜多見の近くで熱心に練習しているチームがあると聞き、1月24日(日)9時半から見学させていただきました。

中学生は遠征で不在でしたが、強風の中、約100人のスタッフと約300人の子ども達が集まっていました。幼児は年少・年中・年長、小学生は低学年・中学年・高学年に分かれ、準備体操、ランニング、そして少人数に分かれて練習開始です。幼児クラスは一列に並んで、足の下から後ろの人へボールを送る練習を一生懸命とても楽しそうに行っていました。小学校高学年のトライの練習は迫力がありました。

子ども達の楽しそうな姿と同時に、コーチをしている大人の皆さん(年齢も様々)の元気でハツラツとした姿が印象的でした。コーチの皆さんは、昔ラグビーを経験したことがある人、他のスポーツをしていた人、様々な経歴の方達だそうです。お話を伺った事務局長の財満修平さんは「練習を通して子ども

達の成長に立ち会えることが醍醐味です」とおっしゃっていました。

スクールに通う6年生の男の子にインタビューしてみました。

- Q. ラグビーを始めたきっかけは？
- A. ラグビーの試合を見て、やってみたと思った。
- Q. いつから始めましたか？
- A. 小学校1年生から。
- Q. ラグビーをしていて楽しい、面白いと思う時はどんな時ですか？
- A. ボールが楕円形で、どこに飛んでいくか分からないところが面白いです。学校とは違うクラブチームの友達と仲間になれるのが楽しいです。
- Q. 少年スポーツでは野球やサッカーが盛んですが、ラグビーの魅力は何ですか？
- A. 体の大きさに関係なく、試合が出来るところが魅力です。

中学生は昨年6月の東日本大会で優勝し、9月の全国大会で4位。小学生は昨年12月の関東大会で4戦全勝し、2月27~28日に東大阪市花園ラグビー場のメイン・スタジアムで行われる全国大会へ出場します。レディースではリオデジャネイロオリンピック出場を賭けたアジア予選に7人制代表として加藤慶子さん、富田真紀子さんの2人が出場し、出場権獲得に貢献しました。

「まず一度、練習を体験してください。そして、楽しかったら、ぜひ一緒にラグビーを楽しみましょう！」とのことです。
(ホームページ <http://www.srfs.jp/>)

青少年委員

菊井善美さん



喜多見中1期生&喜多見小8期生

——子どもの頃の思い出は？
「女の子らしく、シロツメクサや蓮華草で花かんむりを作るのが好きでした。大雨のあとは多摩川に行き、水溜りに残された小魚を捕まえたり、土手でダンボール滑りや水切りしたり、野川にもすぐに降りられたので昆虫の卵や幼虫をたくさん集めたり。まだ防空壕の跡もあったので探検したりしていました」

——いろいろ活躍されてますよね。
「喜多見小学校と喜多見中学校担当の青少年委員をしています。他に、宅急便の早朝仕分けとオーロールスミレパンで働いています。青少年委員には、いつも穏やかで素敵な笑顔の前任の委員さんが選んでくださいました。青少年委員は人や地域、学校と地域などとの繋ぎの役割があります。自分を育てていただいた地域で活動できるのは大変嬉しいです。子どもの頃には当たり前のように近所の大人にも学校の先生方にも見守られていました。自分も同じような地域づくりに協力できたらいいなと思っています」

原田欣典さんに聞きました

野川の野鳥



増えている鳥の代表、水辺の宝石「カワセミ」

世田谷トラストまちづくりの野鳥ボランティアは1991年の発足以来、定期的に野鳥の調査を行っています。

野川について、この24年間で減った鳥はカルガモ、その他の冬ガモ、キジバト、ゴイサギ、ダイサギなどと、夏の繁殖期に見られるツバメ、イワツバメ。カルガモは10年前と比べると半分以下です。逆に増えた鳥は、アオサギ、ムクドリ、カワセミ、コチドリなどです。増えている鳥の代表はカワセミで、よく見られるのは大正橋・神明橋前後。コチドリは3~9月と、かなり長期間見られ、最近は繁殖も観察されて雛の姿もよく見られます。見られる場所は雁追橋下流です。

INFORMATION

冬野川のガサガサ&ごみ拾い

[日時] 2月28日(日)

10:00~11:00 ごみ拾い

11:00~12:00 野川ガサガサ

[持物] 長靴、ゴム手袋、暖かい服装

[集合] 次大夫堀公園築山横の野川階段